



CUSCO LEXUS LBX MORIZO RR

21×9.0J inset 40
POTENZA S007A 245/35R21

WORK VS KF#

大径と深みが文句なしに
ルックスを引き立てる

18inch	7.0J (8万6900円)~14.0J (10万5600円)
19inch	7.5J (10万5050円)~15.0J (13万3100円)
20inch	7.5J (11万7150円)~15.0J (14万5200円)
21inch	7.5J (13万4750円)~14.0J (15万9500円)

車高調サスキットは CUSCO street ZERO A



LBX MORIZO RR用のstreet ZERO Aは複筒式で、減衰力40段調整。F アッパーマウントレス、R 強化ゴムアッパーマウントで、バネレートはF 5kg/mm R 4.2kg/mm。車高はF -40mm R -35mmだ。税込み23万1000円

サスペンション周辺パーツや ボディ補強パーツも充実のCUSCO



CUSCOではFスタビライザー (中実φ25 純正比130% 4万1800円)、Rスタビライザー (中実φ23 純正比119% 4万7000円)、調整式リアアッパーアーム (6万2700円)、リアロアアームF側 (5万600円)、ストラットバーF (2万2000円)、パワーブレース (FメンバーF 3万800円 FメンバーR 4万1800円 シートレールプラス 2万3100円)、強化ピッチングストッパー (2万2000円) も用意

LBXに21インチの提案
9Jインセット40が映える

かつての人気3ピースホイール「VS KF」のリマスター版が「VS KF#」だ。VS KFの流れを汲みながら、昨今のクルマのルックスやサス・ブレーキまわりに合うようにつくり込まれる。

前号で紹介したガレージアクタイプのBNR32と同じく、東京オートサロン2025で、このホイールを履いて展示されていたのがCUSCOのレックスLBXモリゾウRRだ。VS KF#は18インチがフルリバースで、19インチ、20インチ、21インチはフルリバースとリバースのステップアップが混在するが、こちらは21×9.0Jインセット40の後者。カラーはブリリアントシルバークラックとなる。

245/35R21のS007Aとの組み合わせは、フロント40mm、リア35mmの車高ダウンと相まって、絶妙な収まり具合となっている。SUVにも大いにありといえるまとまり感だ。

ちなみにサスキットはCUSCOのLBX用では唯一の選択肢となるストリートゼロA。車高調整幅はフロントが20mmダウンから45mmダウン、リアが10mmダウンから40mmダウンという設定で、前述の車高は結構攻めた位置。取材車に備わるそのほかのCUSCO製パーツは左ページに記載した。